

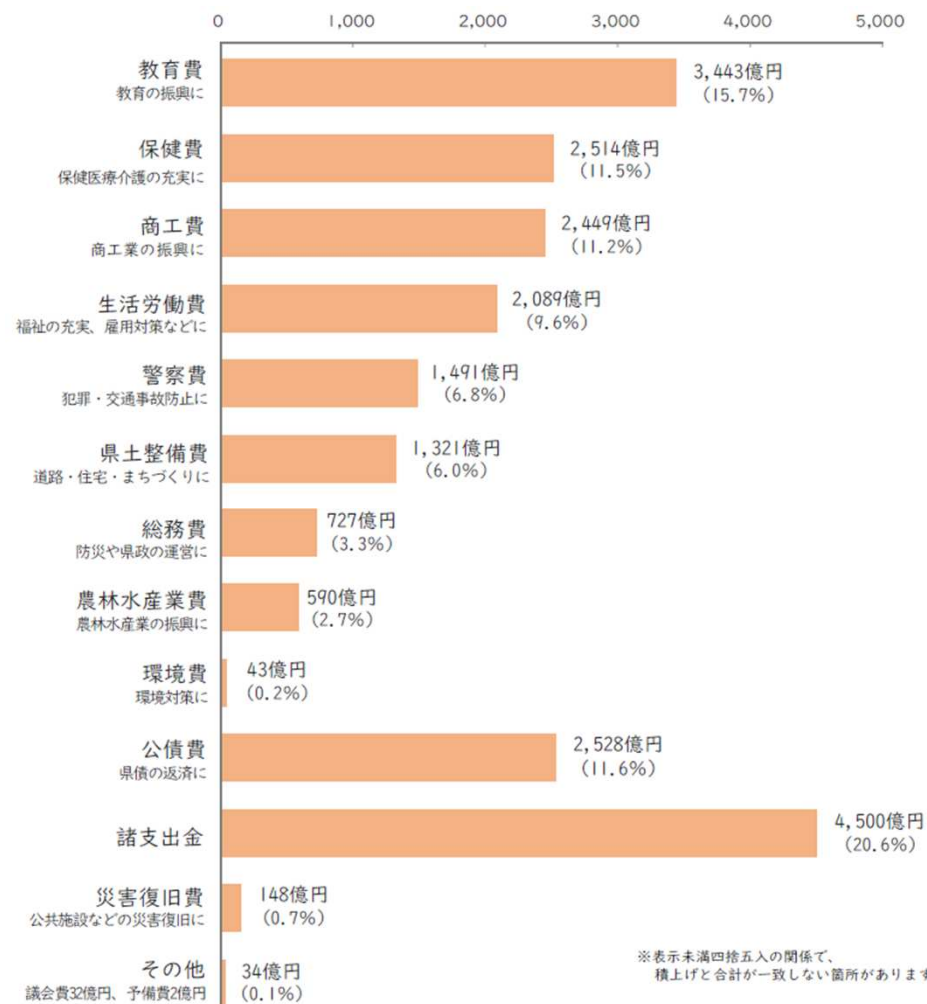
資料9

その他の報告

令和7年度環境部主要事業について

令和7年度当初予算（一般会計）の概要

一般会計予算規模：2兆1,878億円（対前年度比557億円増）



環境部当初予算：43億円（昨年度比：6億円増）

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位：千円)

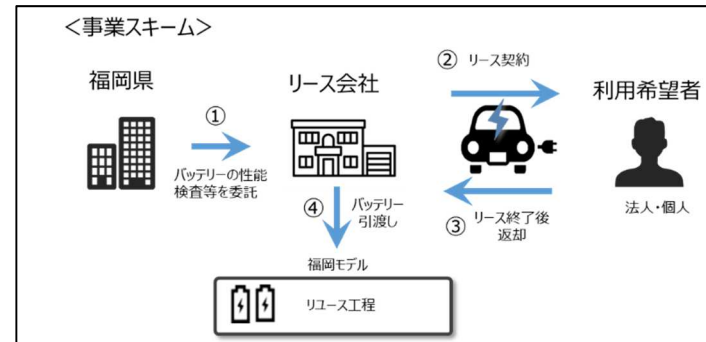
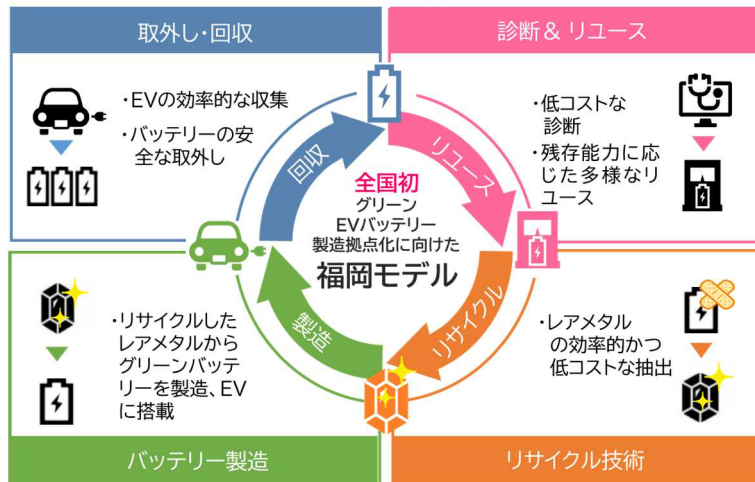
課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要									
	款	項	目														
環境保全課	4	1	2	新規	中小企業 脱炭素経営 推進費	64,001		<p>1 目的</p> <p>地球温暖化対策をさらに推進するため、県内中小企業を対象に、温室効果ガス排出量の算定、削減目標の設定および脱炭素経営計画の策定支援を行い、脱炭素経営の普及を促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 温室効果ガス排出量の算定支援 32,061 県内中小企業(300社)を対象に、温室効果ガス排出量の算定を支援</p> <p>(2) 温室効果ガス排出量の削減目標の設定支援 16,940 県内中小企業(55社)を対象に、国際認証(SBT認定)に準拠した温室効果ガス排出量の削減目標の設定を支援</p> <p>(3) 脱炭素経営計画の策定支援 15,000 県内中小企業を対象に、脱炭素経営計画(省エネ・再エネ設備の導入など温室効果ガスの削減計画)の策定に要する費用を補助 [補助上限額] 100万円 [補助率] 1/2</p> <p>※ SBTとは、国連グローバルコンパクト(UNGC)や世界自然保護基金(WWF)などが共同運営する国際認証制度。 企業がパリ協定(世界の平均気温の上昇を1.5度に抑制)に整合した温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、これがSBT事務局に認められれば、国際認証(SBT認定)を受けることができる。</p>									
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>福岡県 → 委託 → 環境コンサルティング企業(企画提案公募) → (1) 温室効果ガス排出量の算定支援 → 県内中小企業 (2) 温室効果ガス排出量の削減目標の設定支援 → 県内中小企業 (3) 脱炭素計画(省エネ・再エネ設備の導入など温室効果ガスの削減計画)の策定に要する経費の補助 → 県内中小企業</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>脱炭素経営に向けた3つのステップ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="background-color: #f8d7da;">①知る</th> <th style="background-color: #fff3cd;">②測る</th> <th style="background-color: #d4edda;">③減らす</th> </tr> <tr> <td> <p>1-1 情報の収集</p> <p>2050年カーボンニュートラルに向けた潮流を自身事で捉えましょう</p> </td> <td> <p>2-1 CO₂排出量の算定</p> <p>自社のCO₂排出量を算定することで、カーボンニュートラルに向けた取組の理解を深めましょう</p> </td> <td> <p>3-1 削減計画の策定</p> <p>自社のCO₂排出源の特徴を踏まえ、削減対策を検討し、実施計画を策定しましょう</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>1-2 方針の検討</p> <p>現状の経営方針や経営理念を踏まえ、脱炭素経営で目指す方向性を検討してみましょう</p> </td> <td> <p>2-2 削減ターゲットの特定</p> <p>自社の主要な排出源となる事業活動やその設備等を把握することで、どこから削減に取り組むべきかあたりを付けてみましょう</p> </td> <td> <p>3-2 削減対策の実行</p> <p>社外の支援を受けながら、削減対策を実行しましょう。また定期的な見直しにより、CO₂排出量削減に向けた取組のレベルアップを図りましょう</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; color: red;">本事業の支援対象</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">【出典】中小規模事業者向けの脱炭素経営導入ハンドブック(環境省)</p> </div> </div>									①知る	②測る	③減らす	<p>1-1 情報の収集</p> <p>2050年カーボンニュートラルに向けた潮流を自身事で捉えましょう</p>	<p>2-1 CO₂排出量の算定</p> <p>自社のCO₂排出量を算定することで、カーボンニュートラルに向けた取組の理解を深めましょう</p>	<p>3-1 削減計画の策定</p> <p>自社のCO₂排出源の特徴を踏まえ、削減対策を検討し、実施計画を策定しましょう</p>	<p>1-2 方針の検討</p> <p>現状の経営方針や経営理念を踏まえ、脱炭素経営で目指す方向性を検討してみましょう</p>	<p>2-2 削減ターゲットの特定</p> <p>自社の主要な排出源となる事業活動やその設備等を把握することで、どこから削減に取り組むべきかあたりを付けてみましょう</p>	<p>3-2 削減対策の実行</p> <p>社外の支援を受けながら、削減対策を実行しましょう。また定期的な見直しにより、CO₂排出量削減に向けた取組のレベルアップを図りましょう</p>
①知る	②測る	③減らす															
<p>1-1 情報の収集</p> <p>2050年カーボンニュートラルに向けた潮流を自身事で捉えましょう</p>	<p>2-1 CO₂排出量の算定</p> <p>自社のCO₂排出量を算定することで、カーボンニュートラルに向けた取組の理解を深めましょう</p>	<p>3-1 削減計画の策定</p> <p>自社のCO₂排出源の特徴を踏まえ、削減対策を検討し、実施計画を策定しましょう</p>															
<p>1-2 方針の検討</p> <p>現状の経営方針や経営理念を踏まえ、脱炭素経営で目指す方向性を検討してみましょう</p>	<p>2-2 削減ターゲットの特定</p> <p>自社の主要な排出源となる事業活動やその設備等を把握することで、どこから削減に取り組むべきかあたりを付けてみましょう</p>	<p>3-2 削減対策の実行</p> <p>社外の支援を受けながら、削減対策を実行しましょう。また定期的な見直しにより、CO₂排出量削減に向けた取組のレベルアップを図りましょう</p>															

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
循環型社会 推進課	4	1	1	新規	使用済EV バッテリー 資源循環推進費	20,465	0	<p>1 目的 国内での使用済EVバッテリーの資源循環に向けて、中古EV市場の活性化によるバッテリーの安定回収を推進するとともに、リユース蓄電池市場といった新たな産業を創出していくことで、EVバッテリーの資源循環モデル「福岡モデル」を構築する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 中古EVリースの利用推進によるバッテリーの安定回収 13,141 中古EVをリース形式で利用希望者へ貸与し、バッテリー性能の変化や経済性など中古EVリース事業化の可能性を検証することで、中古EVの利用を推進するとともに、バッテリーの安定回収モデルを構築する。</p> <p>(2) リユース蓄電池の導入推進・県内企業の参入促進 7,324 ①リユース蓄電池の導入推進に向けた調査 (6,606) ②リユース蓄電池市場への参入促進セミナーの開催 (718)</p>

福岡モデルの目指す姿




令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
循環型社会 推進課	4	1	1	新規	プラスチック Re:born プロジェクト費	8,411	0	<p>1 目的 県内から排出される様々な使用済プラスチックをリサイクルし、再生プラスチックを必要としている事業者が活用することにより、環境と経済の両立に向けプラスチックの資源循環を目指す。</p> <p>2 事業概要 (1) 製造業(自動車、電気・電子機器等)における再生プラスチックのニーズ及び県内の使用済プラスチックの排出量等のシーズ調査 5,361 [対象] 再生プラスチック使用が想定される製造業者、県内の使用済プラスチック排出者 [調査内容] 製造業者：使用想定部品、求めるプラスチックの種類・組成、要求品質、再生プラスチック使用の障壁 排出者：排出場所、排出量、使用済プラスチックの種類、組成、混入物の除去の容易さ</p> <p>(2) 品質要件に応じた再生プラスチック製品製造に係るスキームの構築の支援 3,050 再生プラスチック利用に関する実証、研究開発の支援(リ総研に委託) [支援先] 共同研究チーム(2チーム) (排出者、運搬業者、再生業者、成型メーカ、大学等で構成。オブザーバ：自動車メーカ等) [研究内容] 使用済プラスチックの効率的かつ異物混入を防ぐ回収方法の検討 ・回収したプラスチックの分別・洗浄・破砕方法の検討、ペレット樹脂の試作 ・再生プラスチック使用製品の試作・品質評価、事業採算性・環境性評価</p>
【全体スケジュール】								
R7	○ コンサルタント会社(1) ・再生プラに係るニーズ、シーズ調査				○ 福岡県リサイクル総合研究事業化センター(2) ・共同研究チームの発足支援 ・環境性評価の作成			
R8	○ 共同研究チーム(2チーム) 排出・保管から再生プラ製品製造までの課題(品質・コスト)を解決し、汎用性のあるプラスチックの資源循環スキームを研究開発							
R9					R8：使用済みプラの安定供給方法の検討			
					R9：・ペレット化における混合比率の検討 ・製品試作、品質確認 ・採算性等評価			
								R7～R9の研究成果を他事業者に波及
R10～	○ 福岡県リサイクル総合研究事業化センター 共同研究の結果を踏まえ、同様の取組の意向がある事業者を支援							

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
循環型社会 推進課	4	1	1	新規	持って帰って いいと (eat) ボックスによる 食品ロス 削減費	1,632	0	<p>1 目的 国が令和6年12月に策定した「食べ残し持ち帰りガイドライン」を踏まえ、モデル店舗で持ち帰りボックスの利用実証を行い、食品ロス削減を推進する。</p> <p>2 事業概要 持ち帰りボックスの導入を拡大し、飲食店・ホテル等における食品ロスを削減 1,632 モデル店舗に持ち帰りボックスを配布し、店舗の食品ロス・廃棄物処理費削減効果や従業員の負担、来店客の持ち帰り後の行動等を検証。 [モデル店舗数] 100店舗/年 × 3年間 計300店舗 [実施期間] 10月～12月の3カ月間 (食品ロス削減月間 (10月)～忘年会シーズン (12月))</p> <div style="text-align: center;">  <p>組み立て</p> </div> <p>持ち帰りボックスのイメージ</p>

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

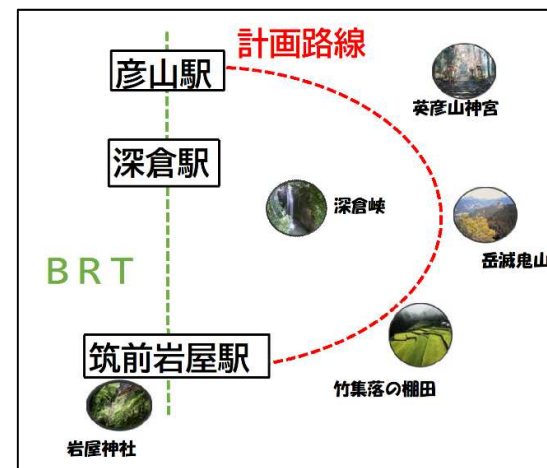
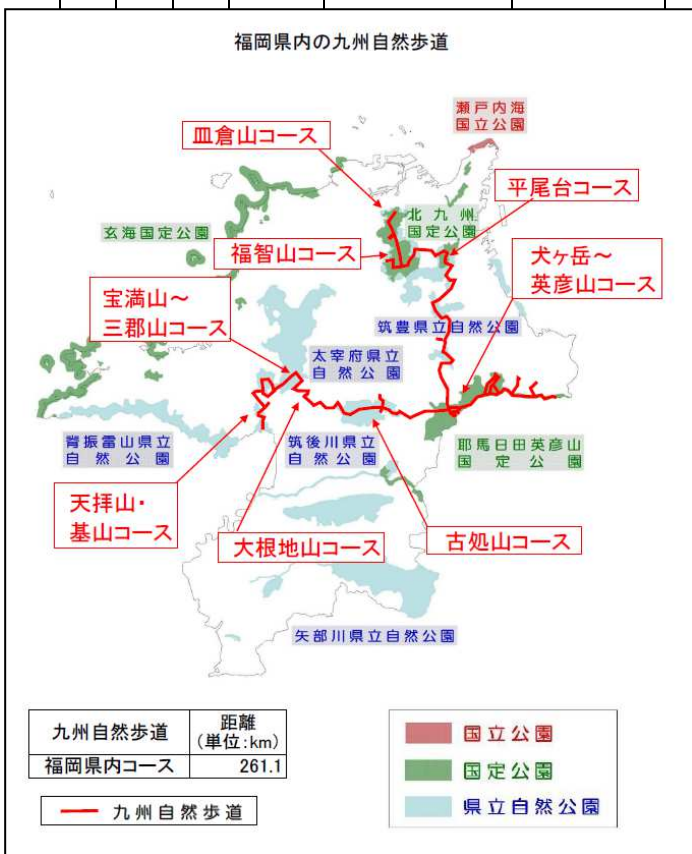
(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要							
	款	項	目												
監視指導課	4	1	3	継続	産廃不適正 処理対策費	250,060 債務負担行為 305,000	22,304	<p>1 目的 産業廃棄物が放置されている嘉麻市産業廃棄物中間処理施設において、行政代執行による支障除去工事を行い、周辺住民の安全・安心を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 有識者への意見聴取 152 実施設計の妥当性及び工事による影響について、有識者から意見聴取</p> <p>(2) 行政代執行による支障除去の実施 244,820 ①実施設計 (43,325) ・境界測量業務及び実施設計業務の委託 ②支障除去工事 (199,089) ・放置廃棄物を整形し、覆土によるキャッピングを実施 ・工事に伴う現場管理業務を委託 ③残置廃棄物及び工事の影響検証のための場内モニタリング (2,406) ・場内地下水2カ所の水質調査、地中5カ所の温度計測を実施</p> <p>(3) 周辺モニタリングの実施 5,088 周辺の民家井戸水2カ所、放流水及び河川水各1カ所の水質調査を実施</p>							
○工法概略図															
○スケジュール															
R7										R8					~R10
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
				(1)有識者 意見聴取					(1)有識者 意見聴取						
(2)①実施設計															
(2) ②支障除去工事 現場管理															
(2) ③場内モニタリング															
(3) 周辺モニタリング															
地元住民への説明															

令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
自然環境課	4	1	4	新規	歩いて体感!! 九州自然 歩道費	6,069	0	<p>1 目的</p> <p>九州自然歩道を活用した、環境保全・生物多様性施策を伝える自然体験機会を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 九州自然歩道の魅力発信 2,420</p> <p>県内各コースが有する自然資産を「生物多様性」の観点から紹介する動画を制作し、YouTubeやホームページ等を通じて情報発信する。</p> <p>(2) 自然歩道とBRTが結びつく魅力的な周遊ルートの新規開発 3,649</p> <p>日田彦山線BRTを活用した自然歩道の新規ルートを開発し、利用者の生物多様性への理解を促進するとともに、日田彦山線沿線地域の振興を図る。</p>



令和7年度当初予算(案)における主要事業の概要

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	事項名	7年度 予算額	6年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
自然環境課	4	1	4	継続	ワンヘルス体験学習・研究ゾーン整備費	204,046	32,783	<p>1 目的 ワンヘルスセンターの中核施設である保健環境研究所の附属施設として、生物多様性の保全の観点から国内初となるワンヘルス教育の屋外学習と、生物多様性保全に関する屋外研究を行う場の整備を実施する。</p> <p>2 事業概要 屋外ワンヘルス体験学習・研究ゾーンの整備 204,046 ・専門家会議の意見を踏まえた実施設計を基に、令和9年度まで計画的に施設を整備 ・令和7年度は、敷地造成工、掘削工、擁壁工、植栽基盤工、雨水排水工等を実施</p>
					ワンヘルスセンターのイメージ			屋外ワンヘルス体験学習・研究ゾーンのイメージ
								